

2023年度商社リーグ 第2回代表者会議 議事録

日時	2023年10月11日(水)19:30-20:15
会場	ZOOM
出席チーム	下記参照
欠席チーム	なし
議事録	日鉄物産/川上、竹内、本田

議題	出席者																								
1 蜘蛛の巣グラフの共有 2 チームペナルティの共有 3 役員会からのコメント	<table border="1"> <tr> <td>役員会</td> <td>辻村、高柳、野間</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>丸紅</td> <td>安藤</td> <td>三井物産</td> <td>梶野</td> </tr> <tr> <td>豊田通商</td> <td>中川、山本、藤井、小池</td> <td>伊藤忠商事</td> <td>山田</td> </tr> <tr> <td>阪和興業</td> <td>大森、上田、米山</td> <td>日鉄物産</td> <td>本田、川上、竹内</td> </tr> <tr> <td>双日</td> <td>河合、中井</td> <td>住友商事</td> <td>丸山、宮川</td> </tr> <tr> <td>兼松</td> <td>曾根原</td> <td>JFE商事</td> <td>野村、椎原</td> </tr> </table>	役員会	辻村、高柳、野間			丸紅	安藤	三井物産	梶野	豊田通商	中川、山本、藤井、小池	伊藤忠商事	山田	阪和興業	大森、上田、米山	日鉄物産	本田、川上、竹内	双日	河合、中井	住友商事	丸山、宮川	兼松	曾根原	JFE商事	野村、椎原
役員会	辻村、高柳、野間																								
丸紅	安藤	三井物産	梶野																						
豊田通商	中川、山本、藤井、小池	伊藤忠商事	山田																						
阪和興業	大森、上田、米山	日鉄物産	本田、川上、竹内																						
双日	河合、中井	住友商事	丸山、宮川																						
兼松	曾根原	JFE商事	野村、椎原																						
1 対応事項	内容	期日/担当																							
① 10月更新分チームデータの承認	役員会にて確認中の10月更新分のチームデータは今週中に承認予定	今週(10/9週)中/役員会																							
2 決定事項	内容	期日/担当																							
① JFE商事のMC不宣誓への対応	MC宣誓の義務不履行として勝ち点-1	役員会																							
3 情報共有及び注意喚起事項	内容	期日/担当																							
① グラウンドに隣接する工場への無断立入禁止	注意事項、同意書の運用について各チーム内で共有	各チーム																							
4 意見交換及び審議事項	内容	期日/担当																							
5 講義及びその他	内容	期日/担当																							

<内容>

1. 蜘蛛の巣グラフの共有

伊藤忠/山田	JFE商事はMCの件で勝ち点-1としている。また、11月度の不可日申請において期限遅れということで0点にしている。他は問題無く期日通りに報告いただいております、事実に基づき反映済みで、チームデータの更新を兼松に任せている。
役員会/高柳 JFE商事/椎原	JFE商事に不可日申請が遅れてしまった理由を伺いたい。 従来、別の担当者が不可日申請を行っているがその者の対応が漏れてしまった。今回は主幹事よりマインドいただき対応した。同担当者が休暇で不在のため、申請遅延の理由は把握しかねるが、明日以降で会話して後日共有させていただく。
役員会/高柳	代表者会議で不可日に不備があった際に状況報告が求められることは過去の議事録からもわかるものだと思うので、自身の担当外であっても代表者会議に参加する以上は最低限自チームの提出状況等は確認を行うべき。代表者会議に参加する者はチームの代表として発言を求められるので事前に事実確認を行っていただきたい。当事者意識をもって後日確認して再発防止に努めるように。
役員会/辻村	提出が遅れることでどういった問題が生じるのか想像力をもって取り組むことが大事。チームとしてカバーできる体制づくりを行うように。他の会社も問題にはなっていないが、同様に個人で対応している面があると思うので、各社体制の再確認をしてほしい。
兼松/曾根原	チームデータを担当しているが、結論として大きな問題は見られなかった。 更新があった部分も確認するところでは全社不備無しで役員会に提出済み。
役員会/高柳 双日/中井	役員会にてチーム更新データは確認中。今週中に承認予定。 双日は試合結果集計を担当。伊藤忠商事、豊田通商提出分で不備があり、それぞれ3点としている。 伊藤忠商事作成の9月30日開催豊田通商vs阪和興業分のMC報告書は、提出期限は守られていたが指摘事項多数あった。 豊田通商作成の9月16日開催双日vs阪和興業分のMC報告書は、提出期限は守られていたが報告日に誤りがあった。
役員会/辻村 双日/中井	いずれも入力内容に誤りがあり、双日側で取り纏めて対応した認識で相違ないか。 伊藤忠商事作成成分に関しては、当日参加していたチームから修正依頼があったので、後日対応した。 豊田通商作成成分は役員会/野間役員より指摘が入り、修正が行われた。
役員会/辻村	Excel入力は細かい部分で修正があるケースが数年続いている。各社でのやり取りで手間がかかっているため、改めて注意してほしい。入力する際に蜘蛛の巣グラフを確認するとミスが頻出部分が見えてくると思うので、再発防止策を実行してほしい。
役員会/高柳 伊藤忠/山田	伊藤忠商事のミスについて、具体的にどのようなミスがあったのか説明をお願いしたい。 初参加の者がMC報告書を担当した。山田ともう1名のチェックを経て提出するフローを組んでいたが、初参加の者がチェックを経ずに提出した。提出後、チェック担当者が誤りに気付いたので修正し、再度提出したという経緯がある。
役員会/高柳	手続きの流れ自体を再確認するべき。ダブルチェックの体制はあったが、担当者が理解できていないがゆえに発生したものだと思う。幹部陣だけでなく担当者も含め、メーカまでの流れを考慮したうえで再発防止を検討してほしい。
役員会/辻村 役員会/高柳	ダブルチェックの体制ができていない会社があったら再度確認してミスないように。 提出物に関して、不備がある会社は偏ってくる。同じチームが同じ過ちを起こさないように注意徹底をお願いしたい。 代表者会議に出席する以上、発言の責任があるので、事前に何を話すか幹部を含めて各社共有しておくように。

2. チームペナルティの共有

① JFE商事のMC宣誓不履行

役員会/高柳	9月2日開催兼松vs三井物産の試合でJFE商事によるMC宣誓が行われなかった事案が発生。主審は日鉄物産が担当した。本来なら宣誓後にコートに各社が入るが、各社が先に入場を行ったことでJFE商事がMC宣誓の機会を逃した。運営要綱に則り、MC宣誓の義務不履行として勝ち点-1とした。今回はJFE商事のみの処罰としたが、事前に運営要綱を確認していれば防げたため、その他3チームも厳重注意としている。
JFE商事/椎原	役員会メンバーが試合会場にいない事が多い中で、自主運営である以上、各チームが運営要綱を再度認識し、参加するように。参加チームに迷惑をかけ申し訳ない。役員会の最終決定を受け止めており、再発防止に努める。 新入社員がMCを担当している中で、社内の引継ぎが不十分だったことを反省している。 今回の事案をきっかけに今後の運営に生かしていきたいと思っている。
日鉄物産/竹内	主審として一番を声かけられる立場だったと認識。自主運営という観点からもチームで運営要綱と議事録を再読し、競技のみにフォーカスせず、運営とプレーの両軸に重きを置いて対応していこうと思う。 チーム内で議事録をはじめ運営要綱を共有したうえで次節以降臨んでいきたい。

三井物産/梶野	円陣を組む時点で先発メンバーが宣誓していないことを話に出していた。運営要綱を理解していたにも関わらず指摘できなかった点は落ち度として認めている。MCを務めないときでもミスが起きた際はフォローできるような体制づくりをしていきたい。
兼松/曾根原	その場で注意できなかったこと、試合後も指摘せずにMC報告書へのサインを進めてしまったことは反省すべき点である。運営面への意識が欠落していた。チームの若手を中心に運営要綱、必要手続きの再確認を行った。
役員会/高柳	どのチームにも起こり得る事象だとは思っているので、引き続きチーム内で共有し再発が無いように。

②阪和興業の年度不可日申請における不備

役員会/高柳	年度不可日申請の際に、阪和興業が部員の冠婚葬祭や都リーグ以外の理由で多数の日程を不可日として申請した。参加意思やコミット力に疑問に感じた点、運営に支障をきたす可能性がある点を考慮し、役員会は同社をモニタリング対象にした。運営要綱をチームで読み返し感想文が期日内に提出されたことを確認したが、どう運営をしていくのか具体性に欠けている印象を受けた。モニタリング対象となつてはいるが、今後どのようにリーグ運営に関与しチーム運営を行うのか、意思表示を含めて意見を聞かせてほしい。
阪和興業/大森	運営要綱を読み込めていない状態で、年度不可日申請を行った。チーム内でのマネジメントができていない点が課題。運営要綱は反省文を提出した際に、メンバー全員で読み込みをして内容共有を行った。新人7名と代表者7名で運営要綱を読み込み、ダブルチェックの重要性についても話し、起こりうるミスの内容共有を行ってきた。チームの代表者1人がとりまとめ提出するというダブルチェックができていなかった状況を踏まえ、今後は大森・上田がとりまとめを行い、年次の高い中屋・小松がダブルチェックする体制を整える。幹事業務がない中で、一参加チームとして協力姿勢を見せしていきたい。具体的には提出物に関して期限の3日前までの提出目標を設定した。審判・MCに関して、試合チームの場合は審判・MCへの気配り、審判・MC担当の場合は試合全体に視野を広げて関与していきたい。
阪和興業/上田	大森が話した内容が当社としての見解。運営要綱の読み込みが足りず主体性に欠けていたことを大きく反省。今年度は幹事業務等が無いが、1人の参加者としてリーダーシップ持って参加していきたい。
阪和興業/米山	今年度実施した表彰式から1年目として参加している。今後は背負っていくという意味として、先輩の失敗を反面教師として行っていきたい。
役員会/高柳	米山さんの世代に対して、要綱の読み込みなど指導を行い、リーグの仕組みや要綱の理解は十分である認識で間違いはないか。
阪和興業/大森	間違いはない。最初は1年目も遊び半分の気持ちもあったが、今回の失敗を受けて参加姿勢を変えていく必要性を感じた。
役員会/高柳	代表者会議に1年目の者も出席することで、先輩世代のリーグ運営への姿勢を見せることも大きな意味を持つ。大森さんから述べられた対策と今後の関与の仕方についても理解した。モニタリング対象であることは変わりなく、提出物期限などは今後も継続して厳守してほしい。
役員会/辻村	今回挙げられた課題を二度と起こさないことを優先しつつも、商社リーグに対して同プラスの影響を与えられるかが大事になってくると思う。具体的なアクションを起こして行動に移すことでリーグ運営に対しても、社内活動についても貢献して欲しい。
役員会/野間	ルールを設けている意味があること、そのルールを遵守しないことで迷惑が掛かっていることを再度認識いただきたい。

3. 役員会からのコメント

役員会/野間	繰り返しにはなるが、様々なルールや要綱があるが、「こなせばよい」という観点がミスを生むことにつながる。代表者会議に出席しているメンバーだけでなく、各チームメンバーを巻き込んで対応をお願いしたい。そうすればこうした不備は減って、代表者会議の時間も少なくなる。
役員会/高柳	前回の代表者会議でも指摘したが、隣の工場にボールが入った際の運用（勝手に敷地へ侵入しない）には注意して欲しい。9月に実際にボールが入った事例があったが、ボールに記名があったので回収できた。各社、ボールへの記名を徹底いただきたい。
役員会/辻村	今年8年目で、若手から商社リーグに携わっている。社内のみならず色々な方と関わることでネットワークを広げられる貴重な場でもある。金田会長も言うように商社リーグへの恩返しの意味でも行っているの、全員が気持ちよく、楽しく活動できるようにしていきたい。そのためにも参加チームからのリーグをより良くするアイデア等、役員会や各チームの代表を通してでも構わないので忌憚なき意見をいただきたい。

以上